

令和5年度 児童発達支援事業所自己評価の集計結果(公表)

公表日 令和 6 年 2 月 20 日

事業所名 児童発達支援事業かやま保育園 ぱんだ組 (保育士 6 名 言語聴覚士 1 名 計 7 名)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、 課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	0		
	2	職員の配置数は適切であるか	7	0	・限られた人員の中で、利用人数の調整をするなどして、適切な人数配置を行った。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	0	・毎日丁寧に掃除をするように心がけている。 ・その日の人数や利用児の特性、活動に合わせて遊べる空間を整えている。	
業務改善	5	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	0		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	0		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	3	・第三者評価は行っていないが、保護者に協力をお願いして、行事に関するアンケートや事業所評価をおこなっている。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	・毎月、所内研修を行っている。 ・所外の研修や勉強会にも参加している。	
適切な 支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7	0		
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	0		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	0		

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	0		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	0	・全体の立案者や朝の会の担当者は定期的に交代にして、遊びが固定化しないように努力している。	・利用児の様子に合わせ、臨機応変にプログラム内容が組めるように、職員のスキルアップを目指す。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	7	0		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	・前日に支援内容や役割分担など確認している。 ・当日の朝は活動の流れを確認している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	0	・支援終了後には、カンファレンスを行い職員間で支援の振り返りなど情報共有を行っている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7	0		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	7	0	・はまぐみ小児医療センターと連携し、助言をいただき、支援方法の共有をしている。	・地域の小学校との連携を積極的に行うよう、事業所側からの連絡を行う。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	7	0	・はまぐみ小児医療センターと連携し、助言をいただき、支援方法の共有をしている。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	0	・就園する児については情報提供書の作成や、療育の様子を伝えるなどしている。 ・就園後に訪問や電話連絡をして情報共有をしている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	0	・例年東特別支援学校の新一年生クラスへ、ぱんだ職員が一日入らせていただき、クラス担任と情報共有をしている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	0	・年2~3回、児童発達支援センターこころんの職員に、ぱんだ組の療育に参加いただき、助言いただいている。 ・こころんと相互研修を行っている。	

関係機関や保護者との連携	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	0	・週に1回ほど、子どもの体調を見ながら交流保育を行っています。 ・ぱんだ組在籍児が、かやま保育園の保育に参加し、園児と交流できる時間を設けている。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	7	0		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	6	1		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0		
	35	父母の会の活動を支援し、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	0	・年3回の保護者座談会を企画・運営を行った。 ・保護者会はなくなったが、食後に保護者同士で雑談ができる場所と時間を作っている	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	・毎月一回、ぱんだだよりを発行している	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7	0	・おたよりに載せる写真などは、保護者に確認をしています	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0		
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	0			
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7	0		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	・かやま保育園と連携をし、避難訓練、不審者対応訓練を行っています。	

非常時等の対応	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7	0	・てんかん発作、服薬など状況を確認し気を付けて療育をしています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	0		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	・ヒヤリハットの事例を見て、危険のないように注意しながら気を付けています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7	0		